

建築学科

[村田研究室]

村田先生



気象予測データから 未来の省エネ手法を模索する

地球温暖化を緩和するためには、冷暖房設備にかかるエネルギーを減らすことが大切です、様々な省エネ方法がすでに実用化されています。しかし、地球温暖化が進んで気候条件が変わると、効果的な省エネの手法も変わる可能性があります。そこで、公開されている将来の気象予測データを元に、窓や日除けの大きさ・向き、建材など、建築手法によって室内環境を快適にすることで省エネにつなげる方法を模索していきます。

11



住み続けられるまちづくりを

13



京畿圏に
具体的な対策を

宮本さん 大学院 工学研究科 建設システム開発工学専攻

修士課程 1年生 熊本県八代清流高校出身

建築と環境について 深く学び 地球温暖化対策へ

地球温暖化が進行した場合に有効となる省エネ手法について研究しています。地球温暖化の現状と対策、ZEH（ゼロエネルギー・ハウスなどについても深く学び、気象予測データを数値化してグラフに起こすことで、様々な建築手法の効果の見える化を目指しています。未来の建築士が温暖化対策として参考にできるデータを導き出したいです。

